

皮膚バリア崩壊の乾燥 vs 単なる乾燥: 違いは？

皮膚バリア崩壊による乾燥と単なる乾燥の違いは、乾燥の原因と結果にあります。

- **「気温の変化」や「季節の変わり目」や「湿度の低下」や「室内の暖房や空調」や「風」などによる単なる乾燥:** この場合、皮膚バリアが壊れて、これにより肌が乾燥した場合と異なり、肌の水分が奪われやすくなっただけです。保湿剤配合の化粧品（化粧水、乳液、クリーム）を使うことで一時的に水分を補給し、油分でフタをすることで乾燥を和らげることができます。ただし、乾燥が落ち着く効果はあくまで一時的です。
- **紫外線により生成される活性酸素や合成界面活性剤配合の化粧品や洗剤洗顔による皮膚バリア崩壊による乾燥:** これは根本的な問題で、皮膚バリア機能が損なわれているために起こります。皮膚バリアが壊れると、水分蒸散や外部からの刺激を防ぐことができず、皮膚の水分が保持できなくなります。この場合、保湿剤配合の化粧品による保湿だけでは、単に肌に水分を補給して、油分で肌を覆うだけです。これにより一時的に肌に水分を与えることはできますが、肌の水分蒸散を防ぐことはできません。乾燥を解消するためには、リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で皮膚バリア自体を修復する必要があります。

簡単に言うと、単なる乾燥（「肌の水分が奪われやすい環境」）は保湿で対応できますが、皮膚バリア崩壊による乾燥は根本的な修復が必要です。この点が理解されていないと、正しいスキンケアができず、乾燥が続いてしまいます。

ほとんどの人が経験する乾燥は、皮膚バリア崩壊による乾燥です。その対策に、保湿剤配合の化粧品で対応しようとする。そのため、なかなか乾燥が解消しません。この科学的事実にはほとんどの方が気付いていません。